

記入例 1

給与所得者異動届出書の記入例

(退職で一括徴収の場合)

処理年度 1.現年度 2.新年度 3.両年度

給与支払報告書 にかかる給与所得者異動届出書
 特別徴収

東かがわ市長 殿

○年12月1日

給与(特別徴収義務者)と支払者	名称(氏名)	○△□株式会社	特別徴収義務者 指定番号	700001
	所在地	〇〇県△△市××1番地1	電話番号	〇〇〇-△△△-××××
	個人番号又は法人番号	9876543210987	担当課・氏名	総務課△△△

給与所得者に異動があった場合は、翌月10日までに必ず提出してください。 *非課税の方、未徴収税額がない方も忘れずにご提出ください。

給与所得者	宛名番号	△△△△△	(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収税額 (ウ)の徴収方法	1月1日以降 退職時までの 給与支払額
	個人番号	123456789012							
	フリガナ	〇〇〇 〇〇〇	12,000円	6月から11月まで	6,000円	〇年11月30日	①退職 ②転勤 ③休職 ④長欠 ⑤死亡 ⑥その他 ()	①一括徴収欄も記入してください。 ②特別徴収継続欄も記入してください。 ③普通徴収(理由)	1,234,567円
	氏名	〇△□ 〇△□ () 旧姓		6,000円					社会保険料額
	現住所	給与の支払を受けなくなった後の住所							234,567円

給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄に記入してください。

給与または退職手当等の支払予定月日	一括徴収予定額		一括徴収した税額は 11月分(12月 10日納期限)で納入します。 *退職の日が1月1日から4月30日までの間の方については、本人からの申出がない場合であっても、5月31日までの間に支払われる予定の給与又は退職手当等が残税額を超えるときは必ず一括徴収してください。(地方税法第321条の5第2項)
	支払予定日ごとの徴収予定額	合計(上記(ウ)と同額)	
11.30	6,000円	6,000円	

新しい勤務先での特別徴収届

月割額 円を 月分から徴収する よう連絡済です。	給与(特別徴収義務者)と支払者	フリガナ						特別徴収義務者 指定番号	(新規)
		名称							
		所在地	〒 -						
		個人番号又は法人番号						電話番号	

記入例 2

(退職で普通徴収の場合)

処理年度 1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度

給与支払報告書 にかかる給与と所得者異動届出書
特別徴収

住所が変わる場合記入してください。

東かがわ市長 殿

○年 12月 1 日

給与(特別徴収義務者)と支払者	名称(氏名)	○△□株式会社										特別徴収義務者 指定番号	700001			
	所在地	○○県△△市××1番地1										電話番号	○○○-△△△-××××			
	個人番号又は法人番号	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	担当課・氏名	総務課△△△

給与と所得者に異動があった場合は、翌月10日までに必ず提出してください。 *非課税の方、未徴収税額がない方も忘れずにご提出ください。

給与と所得者	宛名番号	△△△△△					(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日	異動の 事由	異動後の未徴収税額 (ウ)の徴収方法	1月1日以降 退職時までの 給与支払額
	個人番号	1	2	3	4	5	6	7	8				
	フリガナ	○○○ ○○○					12,000 円	6月から11月まで	6,000 円	○年11月30日	①退職 ②転勤 ③休職 ④長欠 ⑤死亡 ⑥その他 ()	1.一括徴収 欄も記入してください。 2.特別徴収継続 欄も記入してください。 ③普通徴収 (理由)	1,234,567円
	氏名	○△□ ○△□ (旧姓)											社会保険料額
	現住所	給与の支払を受けなくなった後の住所 ○○県△△市××4番地5						6,000 円					234,567円

給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄に記入してください。

給与または退職手当等の 支払予定月日	一括徴収予定額		一括徴収した税額は 月分(月 日納期限)で納入します。
	支払予定日ごとの 徴収予定額	合計 (上記(ウ)と同額)	
	円	円	*退職の日が1月1日から4月30日までの間の方については、本人からの申出がない場合であっても、5月31日までの間に支払われる予定の給与又は退職手当等が残税額を超えるときは必ず一括徴収してください。(地方税法第321条の5第2項)

新しい勤務先での特別徴収届

月割額 円を 月分から徴収する よう連絡済です。	給与(特別徴収義務者)と支払者	フリガナ											特別徴収義務者 指定番号	(新規)		
		名称														
		所在地	〒 -										郵便番号			
		個人番号又は法人番号													電話番号	

記入例3

(転勤等により新しい勤務先で特別徴収継続の場合)

処理年度 1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度

給与支払報告書 にかかる給与と所得者異動届出書
特別徴収

東かがわ市長 殿

○年12月1日

給与(特別徴収義務者)と支払者	名称(氏名)	○△□株式会社		特別徴収義務者 指定番号	700001											
	所在地	○○県△△市××1番地1		電話番号	○○○-△△△-××××											
	個人番号又は法人番号	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	担当課・氏名	総務課△△△

給与と所得者に異動があった場合は、翌月10日までに必ず提出してください。 *非課税の方、未徴収税額がない方も忘れずにご提出ください。

給与と所得者	宛番号	△△△△△					(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日	異動の 事由	異動後の未徴収税額 (ウ)の徴収方法	1月1日以降 退職時までの 給与支払額
	個人番号	1	2	3	4	5	6	7	8				
	フリガナ	○○○ ○○○					12,000円	6月から11月まで	6,000円	○年11月30日	①退職 ②転勤 ③休職 ④長欠 ⑤死亡 ⑥その他 ()	1.一括徴収 欄も記入してください。 ②特別徴収継続 欄も記入してください。 3.普通徴収 (理由)	1,234,567円
	氏名	○△□ ○△□ () 旧姓											社会保険料額
	現住所	給与の支払を受けなくなった後の住所						6,000円					234,567円

給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄に記入してください。

給与または退職手当等の 支払予定月日	一括徴収予定額		一括徴収した税額は 月分(月 日納期限)で納入します。
	支払予定日ごとの 徴収予定額	合計 (上記(ウ)と同額)	
	円	円	*退職の日が1月1日から4月30日までの間の方については、本人からの申出がない場合であっても、5月31日までの間に支払われる予定の給与又は退職手当等が残税額を超えるときは必ず一括徴収してください。(地方税法第321条の5第2項)

新しい勤務先での特別徴収届

月割額 1,000円を 12月分から徴収する よう連絡済です。	給与(特別徴収義務者)と支払者	フリガナ	□□□カブシキガイシャ		特別徴収義務者 指定番号	(新規)											
		名称	□□□株式会社														
		所在地	〒○○○-○○○	○○県△△市××6番地7													
	個人番号又は法人番号	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	電話番号	○○○-□□□-△△△△	